# 謝恩藏拂大賣出し

秋冷之候高堂愈御清適奉賀上候
陳者弊店儀永年格別の御懇情御引立を蒙り誠に難有感謝に不堪候然るに今般時勢の進運に鑑み近く本店の營業と合し會社組織に變更する事に相成候に付商品整理の爲め且は日頃の御鴻恩に酬ゐん爲め在庫品全部左の方法により大々的割引を以て大賣出し致候間何卒賑々敷御來店の程奉希上候　主人敬白

早い程抵が良く
遅い程値が安い

一割引　十月二十一日　十月二十二日
二割引　同　二十三日　同　二十四日
三割引　同　二十五日　同　二十六日
四割引　同　二十七日　同　二十八日
五割引　同　二十九日より

海岸線平町
鹽屋呉服店
電話二十一番

開店御披露
食道樂の福音
◇カツレツ　金二十錢
◇カレーライス　金二十錢
◇ハヤシライス　金二十錢
◇支那そば
◇肉鍋るい
◇丼るい
◇『其他御好みにより調理仕り候』
女給募集
座敷女中入用
和料洋理　エチコヤ食堂
平停車場前（電話架設中）

公債債券賣買
大正生命保險株式會社
平代理店
多田井質店
平町大工町

呉服類は總べて
亀の商標を御信用願ひます
安く良くは亀の標語です
必らず御滿足して戴ける確信です
—最近の當店へゼヒお運びを願ひます—
亀中野呉服店
平町三丁目（電話六七番）

貸家
柳町住宅向　一七圓
櫻町仝　一二圓
加藤營業所
平町白銀町電話三二番

小僧さん入用（有聲座隣）
喰べてたいしい
遠藤パン

カフエースズラン
電話五一四番

柏傳の刺子ト染物
柏屋染物店

今秋最新流行
洋物・洋傘・帽子
安イノガ澤山揃ヒマシタ
大谷洋品部
大谷時計店
平町三丁目電話十九番





# 常磐毎日新聞

十月二十一日夕刊

定價　一部金貳錢　一ヶ月卅錢　豐稅五厘
廣告料　五號十二字詰一行五十錢
休刊日　日曜大祭祝日ノ翌日
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話六三〇番

發行兼編輯人　川崎文治
印刷人
本社ト同番地（電話六三〇番）
印刷所　常磐毎日印刷部


常磐毎日新聞

## 通信上より見たる平町（六）

平銀行樓上に開會の十三日會に講演

平郵便局長　小松良滋

市内取集、一號便午前七時局出發、之れは午前九時十二分平驛發、平仙台間鐵道下便、午前九時二十五分、平驛發東京平間鐵道上便午前十一時三十分、平驛發郡山平間鐵道上二號閉襄便之れは郡山、若松、福島、の三局に落つるものに限る二號便、午前十一時三十分局出發、午后零時五十五分平驛發、東京仙台間鐵道下一號便、之れは午后一時四十四分平驛發、東京仙台間鐵道上一號便午后三時五十分平驛發、郡山平間鐵道上三號便、平郡線各局栃木、新潟兩縣、福島、山形、秋田方面及東京以西各地、三號便午后八時局出發、午前二時二分平驛發、東京仙台間上二號便、縣内は泉、江名小名濱方面のみ、午前二時四十八分、平驛發東京仙台間下二號便、午前四時三十分局出發、合戸之れは一日一回限午前五時平驛發、久慈濱平間、上閉襄便之れは綴、湯本、植田、勿來、川尻、河原子、久慈濱午前六時十五分、平驛發、郡山平間上一號便、之れは郡山平間各局須賀川、白河、宇都宮方面、若松、新潟、三本松、福島、山形、秋田方面、午前六時十五分、平驛發、富岡間下り閉襄便草野富岡郵便差立便數は上り方面即東京方面四便、下り方面即仙台方面四便、平郡線へ三便、合戸へ一便合計十二ビン、取集ビンは一日三ビンの外なきに取集時間を經過したるもの又は其の中間のものは局へ直接持參し局の差出口へ投入せは速達す尚注意すへきは郵ビン局と停車場間の遞送及受渡には二十三分を要す

（つくゞ）

# 謹告

當印刷部は從來磐陽社と稱し平町鍛冶町十一番地に於て營業致し居り候處今回豫告の通り左記に移轉改稱仕り候間此段謹告候也

尙移轉と同時に既に注文中に屬せる新式小型印刷機及び新活字等到着し設備萬端舊に倍せる用意充分に整頓仕り候間總べての御注文に係る活版印刷物は優美鮮明然も低廉敏速を旨として貴意に添ふ可く充分努力するの意圖を有し居り候間何卒多少に不拘御下命御引立の程幾重にも懇願仕候

平町長橋町卅五番地
**常磐毎日印刷部**
（電話六三〇番）

## 稻の乾燥を充分に
### 米質向上に就いて
### 二つの肝要な注意

收穫期に入つた昨今石城郡の當事者は產米改良の上から生產米檢查稻抗乾燥等の必要を說き殊に生產米檢查の如きは農村の自覺待相當の效果を望んでゐるが平穀物

**檢查所**　では『本郡地方を初め双葉、相馬方面は殆ど稻抗乾燥をやつてゐるが稻の掛替へといふ事については一向無頓着である之では折角稻抗乾燥を行つても

**效果は**　更に上がるまい又出來るだけ早く刈取してなるべくおそく入れるといふことも乾燥にとつて必要條件の一つである、本郡の產米が兎角米質惡く乾燥が不充分だといはれてゐるのは主に右の二ケ條件に添はない

爲めで　ある之に引換宮城方面の米質の良好なるは早刈してゐるおそくまで乾燥を充分にするためである稻の外披きをやるのも米の乾燥と密接な關係があるので出來得る限り

**屋內は**　廢し短期乾燥で無く出來るだけ長期乾燥を行ふことが米質上非常な好結果を見ることになるのであるから農村當業者は餘程この點を注意してかゝらねば良い成績を擧げる事は出來ない』と注意を望んでゐる

## 金がうなり過ぎて
## 預金利子の引下げ
### 濱街道銀行同盟會席上に態度を決定する

蘭は春蠶から夏秋蠶と引續き高値で收穫期に入つた水稻は黃金の波をたゝへ濱通り石城地方の農村は

**近年に**　なくふところ工合がよく沿海方面も鰹節の値段がよく十貫匁一樽百五十圓を唱へ水產業者は勿論不景氣知らず江名いづれも三百七八十四倉、小名濱等の漁村では金融極めて潤澤となり、平磐城雨銀行とも一層緩慢で、夫れがため來る十一月八日若松市で開く萬圓の

**預金高**　を示し銀行の金庫には金がうなつてゐるので來る廿五日植田町の濱街道銀行同盟會例會で本店十八銀行支店三十三支店の代表者が會合の席上金利引下げの協議をなす筈で當番幹事磐城銀行の

**支配人**　縣會議員草野順平氏は語る『今年の金融狀態は大震災後初めての緩漫さで礦山や木炭、漁業關係の事業で資金需要の旺盛な濱通りよりも中通りは一層緩慢で、夫れがため來る十一月八日若松市で開く縣下銀行同盟會席上でも預金の協定利率引下げの提案ある筈で豫じめ

**濱通り**　銀行の態度を決定する譯である現在定期預金は六分乃至八分に協定してあるが金融の現狀から見て二、三厘引下げることが適當に思ふ』

## 人に知られぬ
## 眞黑な働き者
### 平驛の機關車

平驛構內には大型小型を合せて常に四十七台の機關車があり絕えず黑煙を吐きつゝ上り下り平郡線に活動し一日も欠くべからざる重要

**任務を**　果しつゝあるがいかに機械の力とはいへこれもまた運轉手同樣休息せねばならずあの半圓形の車庫が一パイになつてゐるがこれ等機關車が自己の運轉する區間を絕えず飛び歩くために使用する石炭といふ食糧は夏期に一車約四千トン

**冬期間**　に五千トンでこれを一日の平均にすると廿五トン余となり每日九十余名の機關手と百十二名の助手が間斷なくこれを働かし活動してゐるとは局外者のちよつと想像出來ぬ話である

## 氣絕者の蘇生法

氣絕は多く腦貧血にするものでありますから、まづ空氣のよい所で頭部を低くし諸筋肉もよくもみ柔げますそして背推骨の兩側にある神經中樞に短し刺戟、指先で押すやうな調子で繰りかへしておくとその間に自然呼吸を吹きかへすものですがそれで容易に蘇生しないやうでしたら、他に原因があると見なければなりません



## 教員任用に
## 一々首實驗
### 石城郡の狼狽

竊盜犯人でしかも小學校を卒業したゞけの學歷を有するに過ぎない者を僞造した仙台第二中學の卒業證書寫しをうつかり信じて代用敎員に任用し半年餘りも高等科一年の女生を受持たして置き犯罪が發覺と共一俄に狼狽して免職するといふ失態を演じた石城郡では今後敎員の任用については愼重に履歷身元調査をするとゝなつたが水野郡長大越郡視學は交々語つて曰く

小學校敎員の任用については從來各郡共申者である校長の調査を信じ形式上の缺陷がなければ代用敎員は郡長が發令したものであつた大浦校の代用敎員奧田勇は丁度學年末の最も忙しい百餘名の移動があつた際詮衡したゝめ斯かる失態を演じたのはわれ〳〵も責任の一半を負はねばならぬ譯で今後は任用前に夫々本人を郡衙へよんで首實驗をなし且つ敎員免許狀や卒業證書は一應見た上で更に再職の場合は前任地に照會すると等調査を周到にすることゝし且つ近く校長會議を開いて郡下敎員の任免內申については粗漏なきやう訓示もする

**平戶敷制町會**　平町本年度後期縣稅戶數割は目下調定中であるが前期と大差なく之れを決定すべく町會は來月中旬開會の豫定

## 風光絕佳な
## 夏井の清流
### 秋の色濃く

磐城の耶馬溪として知られた平郡線川前附近の風光絕佳は車窓の客に賞贊を得てゐるが今年も漸く紅葉は赤色を呈し流れは靑綠に澄み秋の色を濃厚ならしめて來た川前驛より二里弱にして本年は新町自動車も定期運轉を開始し觀客の便宜を計る筈で今月末より十一月初旬に掛けて常磐線並に三春方向よりの團體遊覽計劃もあれば夥しい盛況を見るこゝとであらう

**中野浩忠氏病む**　前磐城新聞社長中野浩忠氏は過般來肺炎におかされ東京麴町飯田町六丁目廿一番地の自宅で療養中であるが容體遽に安心し得ないものがあるやにて井上貞次郎氏鈴木辰三郎氏等の親近者が上京看護中である

## 石城郡で
## 御下賜品傳達
### 昨日郡衙にて
### 廢兵や遺族に

今次の大演習を機に攝政殿下より縣下の廢兵並に戰死者遺族に對し御下賜の御菓子を授與された石城郡內の該當者は廢兵四十一名遺族二百六十九名で二十日午後十時より郡役所に於て傳達式を行はれた

## サンマ船
## 海中に漂ふ
### 運のよい漁夫

石城郡四ツ倉町新町菅波末吉所有の第四十八祖丸が秋刀魚萬五千尾を捕獲十九日午後七時頃歸港の途同町より二海里をはなれた沖合で乘組員千葉縣生れ鎌田榮吉（四二）が激浪に浚はれ行方不明となつたので一同大騷ぎ海中を捜索したが皆目不明なので仕方なく入港この旨を屆出たが榮吉は幸運にも七時間を海上に漂ひ翌二十日午前同町海岸に無事漂着したので一同はいづれも運の強さに驚いた